

# 報 不 加 町 市 福 岡

昭和58年

6月25日発行

臨時号

発行所 福岡県遠賀郡遠賀町役場 編集 庶務課庶務係 印刷 冷牟田印刷合資会社

## 特集 少年非行の防止

―四年目を迎えた青少年育成町民会議の活動―

友達をおどしてお金をまきあげたり、万引きをして知人に売りつけたり、シンナーや覚せい剤など薬物を乱用したり……少年非行が相変わらず増加の一途をたどっています。

遠賀町においても、ここ数年青少年をとりまく環境が汚染され、非行の低年齢化、凶悪化、暴力化の傾向は憂慮すべき状態にあるため、三年前から「青少年育成町民会議」を結成して非行防止に積極的に取り組んでまいっております。

本紙では、町民の総意を結集し地域ぐるみで青少年へ愛の手をさしのべて、心の通う明るく楽しい町づくりをめざす「青少年育成町民会議」の実践活動にスポットをあててみました。

青少年育成町民会議会長 柴田貫蔵



内は活気をあびています。諺に「秋深し、隣りは何をやる人ぞ」とあるように、都市化現象に伴なった社会連帯の希薄化、家庭教育機能の低下等、社会問題の発生を見ております。

うっとおしい梅雨空となりました。町民の皆様ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。お陰を持ちまして、私も四期目を迎え、これからは心の健康作りに全力を傾ける覚悟でございます。

わが町は北九州市と隣接し、政治文化等あらゆる面で、密接な関係を保ち盛衰を共にしてきました。特に最近、ベトナムとして住宅団地の開発造成により都市化が急速に進み、町

青少年育成町民会議”を結成し、組織ぐるみでこの問題にとり組んでいます。

さらに全地区を訪問し、区民会議の結成をお願いしましたところ殆んどどの地区でその結成を見ましたことは、区民の皆様に関心の高さを示していただいたものと感謝いたしますと共に、今後の活躍を心から期待してやみません。

今回、この特集号で、皆様の青少年問題に対する意識を高めていただき、心の豊かな青少年育成をめざし、家庭、学校、社会が一体となり連帯を深めることと併行して「自らの力で非行に打ち克つたくましい青少年を育成する」ことを心からお願いしておきます。どうか町民の皆様さまの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

## 戦後最悪を記録

少年非行

# 犯罪者10人のうち4人が少年

〈警察白書から〉



## 青少年の健全育成について

教育長

大場 芳 郎



戦後の青少年の非行の推移を見ますに、三つのピークを示しております。

第一回目のピークは、終戦による物資欠乏の時期で、生活用品の入手困難に起因する「窃盗型非行」で、年長者が主体でした。

第二回目のピークは、経済高度

成長時代の昭和三十九年で、戦後のベビーブームで生まれた子どもが青少年になった時期に当り、遊び型非行」といわれ、都市化、核家族化が大きく影響しており、だんだん年少者が増加して来ました。

第三回目のピークが、オイルショックの後遺症として、昭和五十年から急激に増加し現在なお増加中の非行であります。その特徴としては、極度に非行件数が多く、低年齢化・悪質化・集団化があげ

られ、特に暴力非行が多いことです。その原因も、子ども自身・家庭・学校・社会にあるものが複合して関係しており、極めて複雑であります。

従って、その非行防止の対策も原因を充分に究明し、実態を的確に把握して、その上に立っていくつかの対策を総合的有機的に行うことが大変重要であります。

そのためには、青少年の健全育成に關与する各機関、団体が組織的に一体となって活動できるような協同態勢を強化することが肝心であります。

また、人格形成の基盤をつくる家庭と、正邪善悪を指導する学校と、健全育成に有益な環境づくりと有害な環境の浄化をはかる社会の三者の連携を一層緊密にするとともに、指導の体系化に努めることが、誠に大切であります。

その他、青少年健全育成の問題点としては、非行の具体的現象面に目を奪われて、非行防止の直接的対応が、あたかも健全育成の主目的であるかの如く誤解されている向きのあることです。

直接的な非行防止対策は絶対に必要なことではありませんが、非行に走らない青少年をつくる、更には将来有為な社会人となる基盤づくり、即ち日頃から豊かなたくましい心を持った青少年に育成して

行くことが肝要であります。

そのためには、家庭においては親が、学校においては先生が、社会においては大人が模範となる行動を心掛けることが重要です。なんとすれば、子どもは大人の姿を見て育つ面が極めて大きいからであります。われわれ大人は、外に目を向けるのみでなく、自分自身に目を向けることも必要ではないかと思えます。

本町では、昭和五十五年に、青少年の健全育成をはかるため、青少年健全育成町民会議を結成して活動を推進しておりますが、その活動もだんだん軌道に乗って来ました。その成果はひとえに今後の努力いかんにかかっております。全町民の皆様お一人おひとりの協力を切に願う次第であります。

### 非行少年とは

非行少年とは、①十四歳以上二十歳未満で罪を犯した少年（犯罪少年）、②十四歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年（触法少年）、③二十歳未満で家庭に寄りつかない等の事由があつて、その性格または環境に照らして将来罪を犯したり、刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（少年法第三条）をいいます（少年法第

# 青少年に良い環境を



副会長 柴田 開

町内百五十店がこの運動への協力店として協力くださることに感謝してあります。しかしながら多様化した今日の社会から、青少年の徳性を育てるに不要なもの、有害なものを一掃してしまうことは到底不可能なことであり、私どもはそれら害悪に毒せらるることのない青少年を育成することこそ本命であろうと思うし、そうなること

これまでは地域社会の環境強化を主に、各方面のご理解とご協力を得て、青少年に有害と思われる商売や販売機の自粛、撤去等お願いし更には商工会のご協力により

## 婦人リーダー研修会に参加を



副会長 榊田 富雄

「青少年の非行防止は家庭から」と、家庭婦人の研修を目的に始めた婦人リーダー研修会。

本年は第三回を迎え七月十七日開催に向けて、準備委員会(婦人会・PTA・子ども育成会・母子会・幼稚園保育園母の会)実行委員会が審議いたしております。

テーマは昨年同様「健全な家庭

町内百五十店がこの運動への協力店として協力くださることに感謝してあります。しかしながら多様化した今日の社会から、青少年の徳性を育てるに不要なもの、有害なものを一掃してしまうことは到底不可能なことであり、私どもはそれら害悪に毒せらるることのない青少年を育成することこそ本命であろうと思うし、そうなること良い環境の構成は、目を社会環境から、家庭環境へ向けなおさねばならぬ時期に来ているように思うのです。どうか町民各位のご理解とご協力を切望いたします。

づくりのための学習を実践活動の在り方を考える」とし討議の柱は「青少年健全育成のために家庭の果たす役割」「親の放任と過保護」「働く婦人と家庭教育」です。

映画・意見発表等を本年は割愛させていただきます十分意見を出し合い、討議を深め、成果を期したいと思います。

第三回婦人リーダー研修会が盛りあがりますように祈念いたします。

▽日時 昭和57年7月17日(日) 9時

▽場所 速賀町中央公民館

## 少年非行の特徴 遊び型非行が増加

それではどのような非行が多いのか、最近の少年非行の特徴をみてみましょう。

▼学生を中心とした校内暴力が増えている。▼シンナーや覚せい剤など薬物を乱用する少年が増加している。▼売春や不純な性行為など、性非行で補導さ



れる女子少年が増えている(中・高校生が全体の半数以上を占める)▼非行に走る家出少年が増し、最近では女子が男子を上回っている。▼万引きや自転車・オートバイ盗などのいわゆる遊び型非行が激増している。これらに共通しているのは、いわゆる、せっぱ詰まった犯罪ではなく、ほんの思いつきや

「遊び型」とも言える少年非行

### 家庭での注意事項

が増えていることです。警察では非行少年をできるだけ早く発見し、非行の芽を早いうちにつみとるための補助活動を強化しています。しかし、大切なことは、家庭や学校、職場、地域社会がお互いに手を取り合っ、地域ぐるみで少年を非行から守ることです。

- ① 勉強や遊びなどの日程表を子供たちに作らせ、けじめのある生活をさせましょう。
- ② 子供が外出するときは必ず行き先を確かめ、夜遊びはさせないようにしましょう。
- ③ 家庭が楽しいところであるよう、少なくとも毎日一回は家族そろってだんらんする機会をつくるようにしましょう。
- ④ 悪に負けない勇気を伸ばし、友達から誘われても断ることが出来る強い意志を育てるようにつけ教育に重点をおきましょう。

## 町内巡回広報活動を行って



教育委員

陣内 明子

した・すみません。と挨拶ことが素直に出るよう地区みんなで取り組んでいく。

四、区民会議で、明るく仲々とした青少年の育成のために力を合せる。

「遠賀町の皆さま、この車は遠賀町青少年育成町民会議の広報車です。」——こういふ呼びかけをお聞きになったことがありますか

町民会議では、毎月十五日に町長を先頭に委員が手分けして、青少年育成のための啓蒙活動を続けてまいりました。

呼びかけの要点は次の四点です

一、毎月十五日は環境浄化の日、青少年に有害な図書やポスターを追放し健全で明るい環境を作る。

二、毎月第三日曜日を「家庭の日」とし、親子で楽しい対話ができるようにする。

三、オアシス運動を進める。おはよう・ありがとう・しつれいしまた

これらの呼びかけがご家庭の中に充分届いて、茶の間の話題となつていけるなら、親子の断絶や家庭内暴力、非行などは遠い存在でしょう。そういう事から広報車の呼びかけが問題提起として、家庭に一石を投じる役をしてくれるなら

これからの広報活動の重要なポイントとして更に内容の検討や効果的な巡回の仕方など、再考していかなくてはと思います。

広報車に向かって手をふり、挨拶をしてくれる子供達の笑顔を見ながら、この次の巡回の時には、車から降りて子供達やご両親と心を開いて楽しい交流がもてたなら、と願っている次第です。

## オアシス運動

オ……おはようございます  
ア……ありがとうございます  
シ……しつれいしました  
ス……すみませんでした

## 遠賀町青少年育成町民会議 スローガン

- 一、子供を温かく見守り、ほめながら援助する。
- 一、他人の子供も愛情をもってしかり、指導する。
- 一、すすんで、オアシス運動を実践する。
- 一、青少年の手本となるよう、行動する。
- 一、小さな親切運動を推進する。

## 家庭部会の活動から

部長 矢野 速雄

青少年を何とかして立派に育てていくことを誰もが心から念願しています。

世の中が進歩して、今のよう文化の時代ともなりますと、昔にない全く新しい言葉が生まれます。町民会議、区民会議等がその一つです。こんな言葉がなぜ出来たのか。子供を持つ親として真剣に考えましょう。

町民会議とは、青少年育成を目的とした組織です。現在青少年問題を大きく取上げなければならぬのは言うまでもなく、非行少年が急激に増えると共に、低年齢化しているのが現実です。可愛い子供です。将来は郷土を守って行く

青少年の教育には学校教育、家庭教育、社会教育とあって、学校教育は子供が大人になり、社会に役立つことを教えるもので、立派な人間を作る教育は家庭にあると思います。現代の子は、平和で経済的にも豊かで、余りにも恵まれていたため、それだけに良い事と悪い事のけじめがゆるみ、甘やかされて依存心が強く、がまんができないところがあります。

また、核家族化、情報化など少年を非行に走らせる要素が多く、このような事を常に念頭におき子供達が何を考えているかを知って家庭教育をすべきと思います。

町民会議のテーマは「健全な家



昨年8月29日に開催した、青少年によい環境をつくる懇談会、亀井光前県知事も出席して盛大に行われた

庭づくりのための学習と実践活動の在り方を考える」を基にして、地域の各種団体が交流と連携をとりながら諸行事を実施しています。

町民の各々が自覚し意識の高揚をはかり、向こう三軒両隣同志がお互に、良い家庭環境作りに努め、そうして地域住民で町民全体で良い環境の町作りに専念して一人の非行少年も出さないよう努力しましょう。

# 健全育成部の活動から



部長 古野 千年

シヨン等に関する事。

(4)その他、青少年の健全育成に関する事。

- (1) 健全育成部では、青少年の自覚高揚のための啓発指導に関する事。
- (2) 青少年団体の活動の育成指導に関する事。
- (3) 青少年のスポーツ、レクリエー

以上の項目を所掌事項として昭和五十七年度は推進してきました内容は、各種スポーツ、少年少女武道大会、野外キャンプ訓練等を実施してまいりました。

一方、文化面においては、「悪書追放」と併せ、子どもに「悪

を読ませよう」と図書の充実を図ると共に、児童生徒の吹奏楽団・合唱団を結成しました。

まず図書においては、百五十万円の図書の購入をし、利用者は昨年九月約三百名に対し本年三月には約八百名と増加をみています。

また、吹奏楽団・合唱団による第一回遠賀町子ども音楽祭を昨年七月二十一日開催以来、活発なる練習を続け、今日いわれている「連帯感や責任感を育てる」と共に団体活動の促進に大きく役立っています。

## 昭和58年の活動

①前年度諸事業の継続 特に、親と子の図書講座は、4月から毎月開講され、このほか、ボランティアのお母さん方による「青い麦」の会も発足し、ご協力を頂いていることは喜びに耐えません。②子どもまつり 8月21日初の行事ですが、ぜひ成功させたいものです。ご協力をお願いいたします。



昨年7月21日に実施した「第一回遠賀町子供音楽祭」は、中央公民館のホールを満席にさせ、すばらしい演奏で観客を魅了した。



昨年7月21日の児童図書館開き「絵しばい」には、多くのちびっ子が集まりました。



「活字離れ」といわれる現代っ子も、ここ児童図書室では本の虫に変身

5月22日、中央公民館で「第2回遠賀町青少年育成町民大会」が開かれました。当日は、各区民会議関係者をはじめ、多くの父兄が会場に集まり、青少年問題に取り組むみなさんの熱意を感じました。



町当局の青少年問題に対する今後の方針を説明する会長の柴田町長

# 補導環境部の活動から

部長 芳賀和夫



最近青少年の非行が著しく増加しつつある現状にかんがみ、町民会議及び区民会議の必要性に迫られた事は、皆さんも既にご承知の事と存じます。

近年、その非行は低年齢化し、中学生の校内暴力は急激に増加し世界各国の非行はアメリカが一位で生徒が教師を射殺した例もあり、二位がイギリスで、三位が日本である事は実に残念でなりません。

このような校内暴力も、一時的な現象とも考えられましたが、年を追うごとに増加し、戦後最悪な状態となり、一時は毎日の如く新聞に掲載されない日はないと言っても過言でありませんでした。

わが遠賀町においても、運動会

や卒業式等になぜ取締りが必要になつたのか、「生徒理解」か「規律重視」か、いずれにせよ学校と家庭が常に連携を保ちながら、家庭教育の重要性を深く重視せねばなりません。

遠賀町の次代を担う青少年の健全な育成のため、私達も自動販売機による悪書の追放・飲酒・喫煙・シンナーの乱用・暴走行為等の非行件数が増加の傾向を辿りつつある現状を心から憂慮し、青少年の健全な育成を目指して、あらゆる運動を進めております。

なにとぞ町民の皆さん達が、町民会議や区民会議の重要性に深いご理解と温かい協力をくださることを心から願ひし、一日も早くすこやかな青少年の成長を祈りつつ健全な昔の姿にかえり、新しい時代にたくましく生きる、青少年を育てるために、町民一丸となって努力をしようではありませんか。

○毎月15日は環境浄化の日

○毎月第三日曜日は家庭の日

## 不良行為町別状況

昭和57年1月~12月

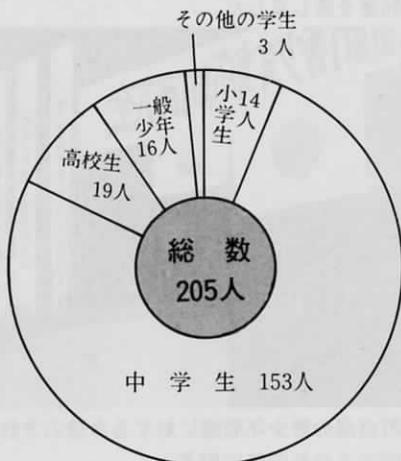
行為	飲酒	喫煙	薬物	乱用	深夜徘徊	家出	無断泊	性交遊	不純異	交友不良	怠学	金持出し	不健全	娯楽	けんか	乱暴	暴走	行為	その他	計	
遠賀	4	64	1	34	(4)					1	15	(3)		8	1	1	4	133	(7)		
水巻	5	119	11	180	(16)	1		1		8	18	(1)	2	11	(1)	16	15	(1)	3	390	(26)
芦屋	4	159	19	87	(11)	4	1	2	(1)	13	9		7				2		3	310	(27)
岡垣	17	126	1	56	(7)	3	5		(3)	16	6		11				5		3	249	(16)

( ) 内は女子の内数

## 刑法犯少年町別状況 昭和57年1月~12月

罪種	強盗	暴行	傷害	恐喝	窃盗	遺失物	横領	その他	計	
遠賀			6		13	(1)	2	1	22	(1)
水巻		7	4	2	60	(2)	1		74	(2)
芦屋					34	(1)	6	1	41	(1)
岡垣	1		4	2	56	(1)	4	1	68	(1)

( ) 内は女子の内数



刑法犯郡内学職別状況

オアシス運動・家庭の日

# 文集・ポスター展を行って

島門小学校長 岡 巖



「おはようございます」と登校して行く子供達の元気一杯な朝の挨拶に、交通指導の私達も、すがすがしい一日を迎えることができます。これも、今まで実施してきたオアシス運動の成果ではないかと感じさせられる今日この頃です。

明るい住みよい町づくりは、子供達の健全育成からと、補導環境部会では、初年度から推進してきたオアシス運動や、家庭の日の運動を、一層充実発展させるためには子供達にその意義を充分理解させながら、また、子供を通して町民への啓蒙も考えられるのではないかと、作文・ポスターの募集を行うことにしました。

夏休みの課題として、町内の全児童、生徒に応募をよびかけ、作品の提出をお願いしましたところその反応は極めて高く、児童生徒

の理解は勿論のこと、保護者の方々の、この運動に対するご理解も、かなりあったようです。提出していただいた作品の中から特に優れた入選作品については、広報「おんが」(9月25日号から11月10日号の四回)に掲載するとともに、町民会議の席上で表彰を行いました。そして、ポスターは中央公民館に展示し、作文は冊子に編集し、文集として配布いたしました。

また県民会議の主催による、コンクールにも多数応募し、県内十名の優秀作品の中、本町から四点が入選いたしました。このように作文・ポスター募集は、児童・生徒は勿論のこと、家庭の関心を呼びおこす意識づくりに大きな貢献ができたのではないかと思います。



ポスター展示風景

## 区民会議便り

ここでは、各小学校区を代表して浅木小学校(浅木)、島門小学校(今古賀)、広渡小学校(広渡)の会長に各区分会議の動きについて書いていただきました。

浅木区会長 野中 英道

青少年の育成に関する組織が、近年多く作られる傾向にある事はとりもなおさず、青少年の生活環境が悪化し、更に深刻化している証拠と考えます。

しかし、その原因を構造的につきつめてみますと、複雑な成り立ちになっている事は、皆さんも先刻御気付きの事でしょうが、例えば過保護の問題です。家庭での子供の数、学歴社会、受験競争、家庭の将来の安定、親の虚栄心等々。これら直接子供とはかわりがない所で、その原因の根があると思います。学校家庭はむろんの事、特に地域社会の中で、その根の所から話し合いを進め、「健全」とは「はばむ原因とは」を考え、てみなければならぬと思えます。

区民会議は、区社会を構成するあらゆる年齢層を網羅した、全住民的組織です。若い人のもつ情熱と行動力、年輩の方々の経験に基く知恵、女性の細かな情操、どれも欠く事が出来ません。あらゆる

広渡区会長 末森 利房

育成について密接な関係があることを自覚して載くことであると思えます。

世代を越えて、育成に関する提議の場、話し合いの場、そして何よりも地域における共通意志を作り出す場として大いに期待します。

今古賀区会長 永田 明

今古賀区の区民会議発足に当たっては、各組織の役員の方々の集会を願って区民会議規約案の作成、役員構成等について準備委員会を五回開きました。昭和五十七年七月十七日今古賀区の総会を開催し全員の賛同を得て規約及び役員が決定されました。

区民会議発足後父母の会合を持ちまして今後の活動についての話し合いをしました。初めから難しいことをしても実効は上がらないだろうから易しいことから始めようということ、家庭で朝起きたらみんなが「おはようございませう」とあいさつをするを励行するように申し合せをしました。

今後の区民会議のあり方は区民の皆さんが心易く集会に参加して意見がのべられるような雰囲気を作ることに、お互いが青少年

に、町教育委員会の指導を受け、会長以下四五名の運営委員で編成されています。当区は区や公民館を中心に良い環境づくりに力を入れており、成果を上げておりますが、しかし校区が集落化している関係上、危険な地域です。それだけに父兄もこの問題には非常に監視の目が高いのです。

昨年は公民館、子供会が中心となって、親子の集い等の数回行事を実施しました。本年は新しい行事を予定しており、またパトロール隊を編成し、夏休み、冬休み春休みには、青少年の監視の行事もしています。一番大事なのは先ず住民が区民会議の会員であることを常に自覚する事です。当区は会員章を全戸に配布して、例えば他人の子供にも愛情をもって叱るということもでき、区民全員で良い環境を作った初めで立派な青少年ができると思えます。

非行は段々と低年齢化し、件数も多くなりつつある今日、父兄であり親である私達社会人が可愛いわが子の問題を真剣に考える時だと思えます。

# 効果あがるオアシス運動と

## 家庭の日の実践活動

広渡小学校長 藤原 守

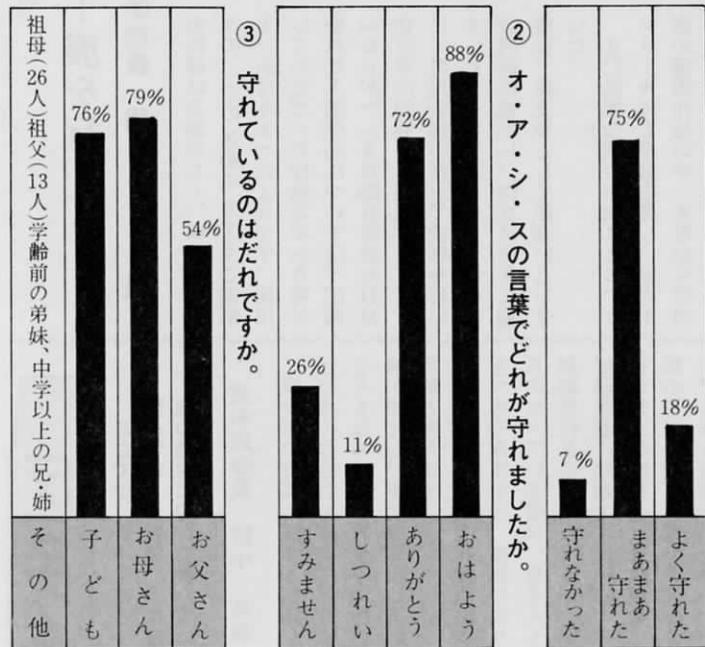


本校は、開校以来「秩序ある学校」「楽しい夢のある学校」の校風づくりを旨とし、その実現を図るため、「秩序ある学校」は、まず「あいさつ」からということでその具体的な実践活動として「オアシス運動」を、そして「楽しい夢のある学校」は、まず「楽しい家庭」からの考えに立ち、毎月一回の「家庭ふれあいの日」を設けて、学校とPTAが一体となって実践を続けてきました。

一方、町の青少年健全育成町民会議においても努力目標として「オアシス運動」「家庭の日」が掲げられています。

今、本校の取り組みの状況をグラフで紹介します。

資料(1)は、家庭でのオアシス運動の実践状況を示したものです。「よく守れた」「まあまあ守れ



た」を合わせると、九十三%の家庭で大体守られていることがわかります。問い③「守れているのは、だれですか」では、「お母さん」「子ども」が約八十%近く守れて

いるのに対し、「お父さん」の五十四%は、ちょっと残念です。またオ・ア・シ・スの中では「おはよう」「ありがとう」は、どの家庭とも大体守られているようすが「しつれい」「すみません」はあまり守られていないようです。これは社会的には大変大切なことばであり、あらゆる機会を通してしつけないものです。

### 資料(1) オアシス運動のアンケート集計結果

子供ならだれでも

「親を悲しませたくない」という気持ちを持っている

俳優 穂積 隆 信



しかるほど

遠のく

娘は、その時まで、それは真面目な子供でした。  
その時——中学一年も終わりに近い三月初めのことです。顔をカミソリのようなもので切られて帰ってきました。それからというもの、学校から帰るのが遅くなるし、親を避けるようになりまし  
た。わたしばかりか、妻と言葉を交わすことも嫌うようになり、日を追って娘の生活態度がおかしくなっていました。  
わたしは夫婦は、ただ仰天するばかりで、なすすべもなく、とにかく「親として」の面目と世間

体を気にして、娘をしっかりとしました。しかし、しかればしかるほど娘は遠のいていき、わたしと妻はただ娘の行動に振り回されるばかりでした。

子供に非行の兆しが見えると、親は怒ります。すると、子供は逃げる、つまり親を避けるようになりますが、親は逃げる子供を追い詰めてはしかり、ときには暴力を振るうようになる——これでは、親子の関係はこじれるばかりです。

好奇心から面白半分にはンナーを口にしたにすぎないのに、あまりにもひどい怒り方をする親の態度に嫌気がさして、身も心もンナーに奪われていく——そういうケースも多いのです。

子供の心が

見えないとき

子供の心が見えなくなった親というのは、子供にしてみれば、ただ恐ろしく、うとましいものにか映らないようです。こうなると

資料(2)は、「家庭ふれあいの日」の実践の様子です。「ふれあいの日」を決めて、実践している「七十四%となっています。本校では、「家庭ふれあいの日」の写真コンテストを行い、出品作品は拡大してパネルにして学校の廊下に展示し、さらに、それをスライドにして、PTA学級集会でテレビ放送しています。

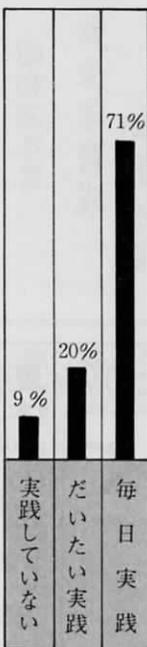
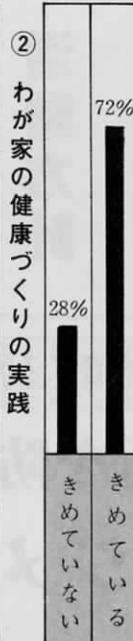
また、「わが家の健康づくり」でも、目あてを決めて毎日努力されている家庭が七割以上もあり、親子が揃って「心と体」の健康づくりに励んでおられることは、大変すばらしい子育ての営みとされています。

一方、学校においても、毎週の全校集会で大きな声でオアシスのことを全員で唱和し、習慣化を

資料(2)  
① 家庭ふれあいの日について



- ② 家庭ふれあいの内容
- 健康づくり
  - 家族会議
  - 草取り
  - 料理
  - 親子の勉強
  - 草花の手入れ
  - 親子読書
  - ハイキング
  - 大掃除
  - その他キャンプ等



図っています。

今日の青少年の非行の原因の多くが家庭での「対話」、「ふれあひ」の欠如にあることを考える時「家庭ふれあひ運動」「オアシス運動」は極めて、時宜を得たものであり、心の大切さに目ざめる具体的な活動として評価されるのではないのでしょうか。

これからは、さらに一歩進めて、各地区毎に「あいさつゾーン(小径)」「ふれあひゾーン(小径)」を設けて、明るい「ふるさとづくり」を目ざしたいものだと考えています。



広渡小学校は、健康づくりや交通安全などで数々の優秀賞を受けており全国から注目を浴びている

子供は親にも世間にも背を向けて自分の世界に立てこもってしまっています。

常に変わらぬ愛情を

子供にとって 家庭は「港」

子供にとって、わが家はいつでも安心して停泊できる「港」のようなものです。しかし、一日を終えて「港」に帰ってきてても、頭からボンボンお説教を並べられるばかりでは、面白いはずがありません。

「身も心も安らぐ、世界でいちばん素晴らしい港」——子供がそう思えるような家庭づくりをすることが、非行防止を考えるうえで何よりも大切なことではないでしょうか。

子供が自発的に、自ら心を開いて親に話しかけられる、何ごとも相談できるムードづくりを心掛けたいものです。

そのためには、まず、あいさつを忘れない家族関係をつくることです。朝、夕に顔を合わせても子供があいさつをしないなら、親のほうから積極的に「おはよう」「おかえり」「おやすみ」と声をかけてください。そして、子供の心が常に家族に向かって開いてい

る——そういう家庭づくりを目指したいものです。

親は、子供が順調に育っているときは、あれこれと世話をやき、一生懸命、愛情を注ぎます。しかし、子供が少し悪さをしたり、非行の芽が出かかったようなとき「こんなに、お前のためを思ってやっているのに、どうして親を裏切るの」などと、悲鳴をあげがちです。が、ちょっと待ってください。肝心なのは、子供がどういう状況にあっても常に変わらぬ愛情を注ぎ続けることではないでしょうか。

子供ならだれでも、親を悲しませたくないという気持ちを持っている、そう信じていのです。親が、常に本気で子供と付き合っていく態度を貫けば、非行の芽など育つはずがないと思います。

★ほつみ・たかのぶ 昭和六年、静岡県生まれ。俳優座養成所卒。多くのテレビドラマや舞台で活躍。非行に走る娘とのせいで絶望を味わった著書「積木くずし」が大きな反響を呼んでいる。

昭和58年度  
青少年育成  
町民会議

# 活動方針

一、健全育成活動を推進する

(一)教育啓蒙運動

(二)家庭の日の普及

(三)青少年自らの姿勢と責任を自覚しよう(少年の主張県大会へ参加、家庭の日、オアシス運動の作文並びにポスター応募等)

(四)青少年団体結成の促進(子供会連合会結成完了、区民会議及び公民館を中心として、青年層の組織化をはかる)

(五)非行防止に努める

(六)有害図書及び有害ポスターの追放

(七)テレビ番組の内容検討

(八)屋外自動販売機の自粛(ピニ本等の販売機、ゲーム機など)

(九)溜り場の解消、遊び場(健康広場)の設置

以上が町民会議の努力目標です

町内の各種団体・行政等すべての機関・並びに関係者、区民会議等互いに連絡協調し、健全育成に努めましょう。

夏の誘惑に負けない強い子供を育てるための

## 夏休みの非行を防ぐ 5つの「ケジメ」

夏休みの過ごし方

**1** 〔時間〕  
約束した時間を  
守らせましょう

朝寝、夜ふかし、テレビを見る時間が長くなるなど、休みに入った安心感から子供は時間のケジメを忘れがちになります。また、夏休みは、遊びに行っても帰宅が遅れがちです。門限を決めて、キチンと守らせるようにしましょう。学校を離れてのんびり過ごすのも夏休みならではの楽しみですが、前もって約束した時間には読書や家事の手伝いなど、決められたことを行うようにしたいものです。

**2** 〔お金〕  
計画的な使い方  
身につけさせましょう

夏休みになると、子供は外へ遊びに行く機会が増え、お金を使うことも多くなります。無駄遣いの習慣が身につかないように気をつけましょう。

子供にお金の合理的・計画的な使い方を身につけさせるためには例えば、毎月決まった額の小遣いを与えるのも一つの方法です。一定の金額の中でやりくりできる基本的な習慣を養ってあげましょう。

**3** 〔計画性〕  
夏休みならではの  
目標を持たせましょう

夏休みは、子供が時間や物事の計画性を養う絶好の機会です。前もって夏休み中の計画表を作らせそれをキチンと実行させるようにしましょう。また、不得手な科目を徹底的に勉強するとか、趣味でも学習でも興味のあるものをさらに研究するといった、夏休みならではの目標を持たせ、子供が最後までやり遂げるよう、応援してあげましょう。

**4** 〔友達づきあい〕  
「ノー」と言える  
強さを持たせましょう

子供には、イヤなことや悪いことにはハッキリ「ノー」と言える強さを持たせたいものです。悪いことを許しあったり、いつでも行動を共にすることが本当の友達づきあいでないことを子供に教えます。

また、夏休みの解放感、ややもすると子供を夜遊び、盛り場、不良交友、外泊などへと駆り立てます。親は頭こなしに怒鳴る前

に、それがどうして悪いのか、子供といっしょになって考えてあげてください。

**5** 〔健康・安全〕  
健康のありがたさを  
理解させましょう

喫煙、飲酒、シンナー遊びなどは、青少年の健康な心身を確実にむしばみます。子供には、日ごろから健康の大切さを話して聞かせ、スポーツなどに興味を持たせたいものです。

また、自転車の二人乗りやクルマやバイクの無免許運転など、交通事故に結び付く行為が増えるのもこの季節です。事故に遭ってからは遅いことを、子供によく話してきかせましょう。

